

株主・投資家の皆様へ

株主通信

2019年3月期第2四半期のご報告

2018年4月1日～2018年9月30日

パーソルホールディングス
(証券コード：2181)

株式に関するお手続きについて

証券会社などの口座に記録された株式

■お手続き、ご照会などの内容

- 郵送物などの発送と返戻に関するご照会
- 支払期間経過後の配当金に関するご照会
- 株式事務に関する一般的なお問合せ

- 住所・氏名変更などの上記以外のお手続き、ご照会

■お問合せ先

株主名簿
管理人
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

口座を開設されている証券会社などにお問合せください。

特別口座に記録された株式

■お手続き、ご照会などの内容

- 特別口座から一般口座への振替請求
- 住所・氏名などのご変更
- 特別口座の残高照会
- 配当金の受領方法の指定(*)

- 郵送物などの発送と返戻に関するご照会
- 支払期間経過後の配当金に関するご照会
- 株式事務に関する一般的なお問合せ

■お問合せ先

特別口座
口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

[手続き書類のご請求方法]
○インターネットによるダウンロード ▶ <https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

(※)特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。



2014年8月:JPX日経インデックス400の構成銘柄へ選定されました。

JPX日経400とは? 日本企業の魅力を内外にアピールすることなどを目的に、資本の効率的活用や投資家を意識した経営観点など、グローバルな投資基準に求められる諸要件を満たした会社で構成される新しい株価指数です。

はたらいて、笑おう。



PERSOL

東京都渋谷区代々木2-1-1 新宿マインズタワー TEL 03-3375-2220(代表)

※本報告書に記載されている事項には、将来についての計画や予想に関する記述が含まれています。実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があり、その確実性を保証するものではありません。

表紙に登場している人物はすべてパーソルグループの社員です(2018年10月時点)



この印刷物は「FSC® 認証紙」と「植物油インキ」を使用しています。



人と組織の成長創造インフラへ

PROFILE

代表取締役社長 CEO
水田 正道

1988年テンプスタッフ(現パーソルテンプスタッフ)入社。
1995年取締役営業本部長、2006年常務取締役東日本営業本部長、
2010年取締役副社長、2012年代表取締役副社長に就任。一貫して営業部門を担当。
2013年代表取締役社長就任。日本人材派遣協会会長、人材サービス産業協議会理事長を歴任。
座右の銘は積小為大。

当期の概況

日本経済は穏やかな回復を続けており、雇用情勢は改善を続けています。人材サービス市場における企業の需要は引き続き旺盛で、当社グループの業績は、主力事業の人材派遣や人材紹介を中心に概ね堅調に推移しました。また昨年株式を取得したプログラムド社*の業績寄与もあり、第2四半期の売上高は過去最高となる4,522億円、営業利益は204億円となりました。

「人」が介在することの価値の追求

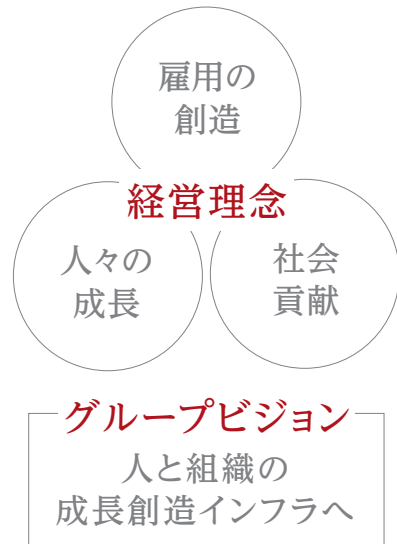
テクノロジーが目覚ましいスピードで進化を遂げており、さまざまなサービスや業務のA化・IT化が今後も拡大していくでしょう。しかしある業界では、対人販売からネット販売への移行が進む中、東日本大震災を契機に対人チャネルが再評価されるようになったといえます。なぜなら震災の後、親身に迅速に顧客を支えてくれたのは「人」だったからです。いざというとき頼りになるのは「人」。そんな事実を多くの人が再認識するきっかけとなりました。もちろんAやITの活用は、私たちが積極的に取り組んでいきたいテーマの一つです。しかしその一方で、「人」の魅力を高め、「人」が介在することの価値を追求していくことも、当社グループのテーマでありコアコンピタンスであると考えています。

現を全力でバックアップします。さまざまな制約の中でも働くことを望む人々のために、有期/無期、フルタイム/パートタイムといった雇用形態の垣根をなくし、「多様性ある働き方の実現」を目指します。働き方の選択肢が増える一方で、企業が求める人材や仕事の内容も多様化しており、働きたい人と最適な仕事を迅速に正確に結びマッチングの重要性はますます高まっています。そんな中、当社では派遣・BPOセグメントの子会社統合を進め、2018年10月に派遣事業の7社を「パーソルテンプスタッフ」に、BPO事業の3社を1社に統合しました。これによりデータベースの統合などを通じて

マッチング精度の向上を図ることで、「ミスマッチの極小化」を追求していきます。労働人口の減少や法律の改正など雇用を取り巻く環境が絶えず変わりゆく中で、働く人と企業の双方にとって頼れる存在であり続けるために、パーソルグループは「多様性ある働き方の実現」と「ミスマッチの極小化」をテーマにこれからもグループ一丸となり全力を尽くしていきます。

働く人と企業双方に寄り添う存在として

日本の働く力を守るために、パーソルグループは働くことを望むすべての人に寄り添い続けます。一人ひとりの能力を見極め、企業に的確にアピールしていく「エージェント」として、希望に合う就業の実

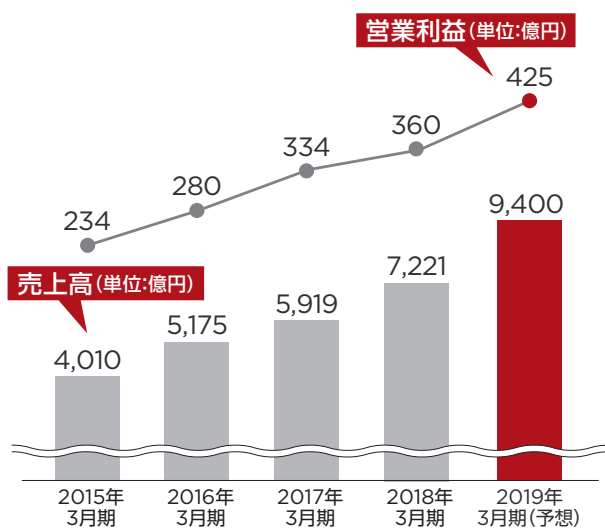


*Programmed Maintenance Services Limited

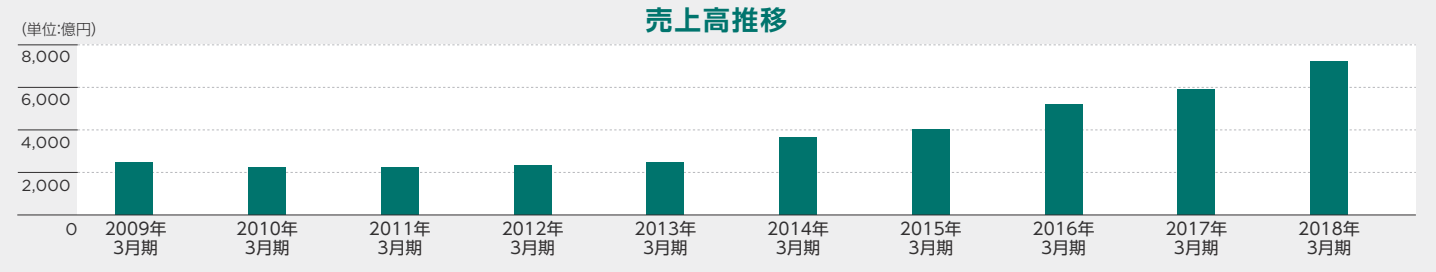
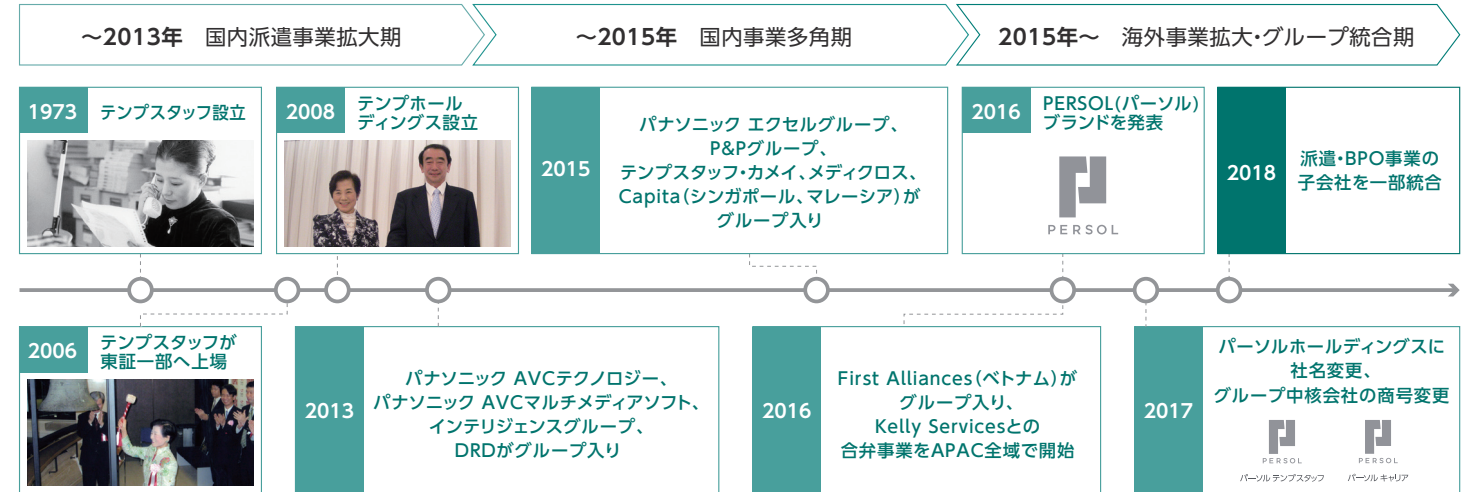
業績ハイライト 《2019年3月期 第2四半期 連結累計業績》

売上高・営業利益とも 過去最高実績を更新

売上高 4,522億円 前年同期比 39.3%増	営業利益 204億円 前年同期比 27.7%増
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 119億円 前年同期比 30.0%増	1株当たり 中間配当金 10円



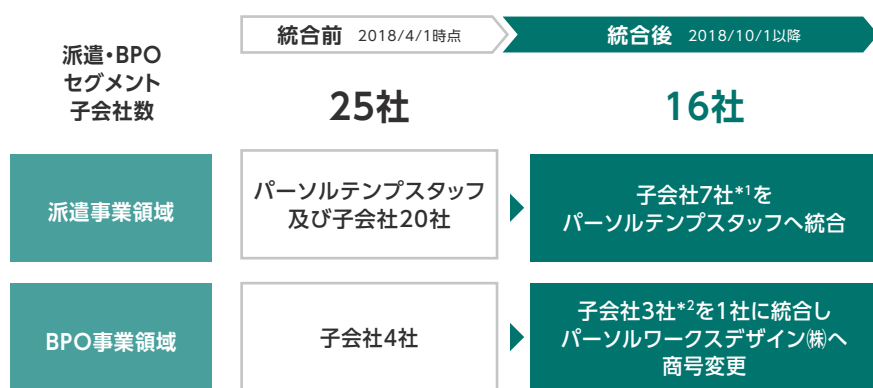
これまでのパーソルグループ



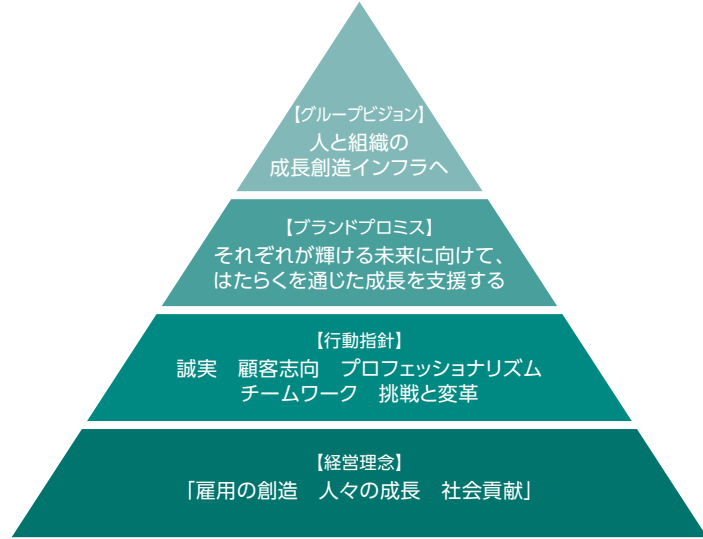
今年度、売上高9,400億円を目指すパーソルグループは、1973年、創業者である篠原欣子が六本木に開設した自宅兼事務所「テンプス」からスタートしました。

まだ労働者派遣法制定の12年前(1985年に制定)のこと。結婚退職が一般的で就業機会の少なかった女性と、日本に進出し人材を求める外国企業という潜在的な需要のマッチングを皮切りに、日本企業においても「人材派遣」が浸透。2006年に東証一部上場を果たし、2008年にはパーソルスタッフとの共同持株会社「テンプホールディングス(株)」を設立しました。その後、現セグメントに至る旧「日本テクシード」、旧「インテリジェンスホールディングス」のM&A、そしてAPAC地域での拡大等を経て、当社は国内最大級の総合人材サービス企業となりました。

派遣・BPO事業の子会社統合



*1 子会社7社: (株)キャリアライズ、テンプスタッフ福岡(株)、テンプスタッフ・クロス(株)、テンプスタッフファミリイ(株)、テンプスタッフグロウ(株)、テンプスタッフ・クリエイティブ(株)、テンプスタッフ・メディア(株)
 *2 子会社3社: (株)日本アイデックス、テンプスタッフ・ライフサポート(株)、(株)ハウコム



2018年10月1日、派遣事業の子会社7社を「パーソルテンプスタッフ」に、BPO事業の子会社3社を1社に統合しました。これまで地域子会社や専門分野における事業展開で培った強みを結集。集中化やIT技術を最大限に活用して、人材マッチングの精度とスピードの向上を図ります。これにより、お客さまの業務遂行に必要な能力やスキルを持った人材ニーズにこれまで以上に迅速にお応えしていくと同時に、求職者の皆さまにはより多様な就業機会を提供し、一人ひとりのキャリアアップの支援を強化していきます。

さらなる成長の実現に向けたパーソルグループの取り組み

パーソルグループでは未来への種まきとして、主にHRテクノロジー領域における投資・アライアンスや、インキュベーション*への取り組みを積極的に実施し、働く人と企業の課題解決とさらなる成長の実現を目指しています。

HRテクノロジー領域へのアライアンス・投資

パーソルグループではHRテクノロジー領域への取り組みの1つとして、2016年にコーポレートベンチャーキャピタル[PERSOL INNOVATION FUND合同会社]を設立し、国内外のスタートアップとのアライアンスや投資に力を入れています。これまで投資した約20社のうち、RPAホールディングスやブリッジインターナショナルは株式上場を果たしました。またシングレーはグループ会社の一員となり、HRテクノロジーを活用しサービス強化を加速させています。

インキュベーションの強化

パーソルグループではインキュベーション強化の1つとして「新規事業創出プログラム」を運営し今年で4期目を迎えます。グループ内全社員が応募対象、最終選考通過案件には初期投資額が付与され新規事業化を進めることが可能です。本年度より「リーンスタートアップ」の手法を導入し、無駄のない効率的な新規事業創出に力を入れています。これまで実施したプログラムからは、中途採用サービスの「ミイダス」や、クラウド型モバイルPOSシステム「POS+（ポスタス）」が生み出されました。こういった新規事業をさらに生み出していくため、2018年4月に「イノベーション推進本部」を設立、インキュベーション強化とイノベーション創出をより加速させていきます。



中途採用は
ミイダス

中途採用サービス「ミイダス」初のTV-CMが
2018年8月19日（日）より全国で順次放送開始
※本CMは、<https://corp.miidas.jp/> でもご覧いただけます。

*インキュベーション:事業の創出や創業を支援するサービス・活動のこと

パーソルグループ提供サービスの紹介

パーソルグループでは「tempスタッフ」「doda」「an」をはじめとした働く人の多様な未来を支援するためのサービスを展開しています。

tempスタッフ

事務系を中心とした
人材派遣・アウトソーシングサービス

doda

人材紹介、転職サイト、転職フェアを
通じた転職支援サービス

an

アルバイト・パートの求人情報サイト

ミイダス

市場価値を診断し企業から
直接オファーが届く転職サイト

i-common

経営顧問、アドバイザーとしての
就職先紹介サービス

HITO Talent

人材情報の可視化、人材の
有効活用を可能にする
タレントマネジメントシステム

POS+

ポスタス

幅広い業種の店舗管理を
支援するクラウド型
モバイルPOSレジ

PERSOL

パーソル テクノロジースタッフ

Flexible CAREER

エグゼクティブエージェント

BRS

Bilingual Recruitment Solutions

ファンタブル funtable

CRE DENCE

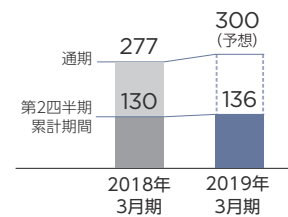
mama VOLUN

エンジニアリング

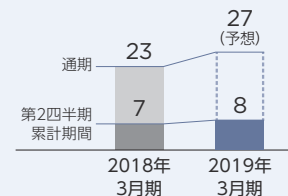
セグメント

一部検収時期変動による影響があったものの、受注は堅調に推移し、売上高は136億円となりました。利益面においては、技術者の引き合いが強く単価上昇効果があったこと、案件を内製化する等のコストコントロールを行った結果、営業利益は8億円となりました。

売上高 **4.5%増**
(単位:億円)



営業利益 **23.8%増**
(単位:億円)

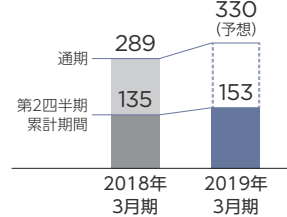


ITO

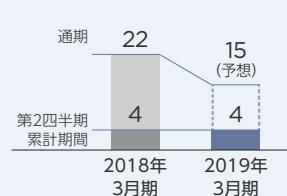
セグメント

企業のシステム投資の増加等、旺盛な需要に対し、技術者確保により受託拡大を進めた結果、売上高は153億円と伸長しました。利益面においては、待遇改善や積極的な採用に伴う募集費の増加等により、営業利益は4億円となりました。

売上高 **13.6%増**
(単位:億円)



営業利益 **5.7%減**
(単位:億円)

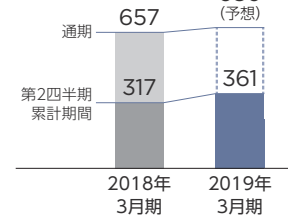


PERSOLKELLY

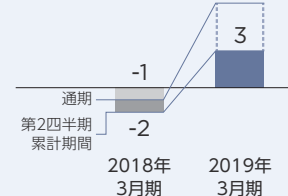
セグメント

APACの活発な市場環境に対し積極的な営業体制の拡充を行った結果、売上高は361億円と伸長しました。利益面においては、体制整備に伴う人件費増加等があった一方で、人材派遣・人材紹介を中心としたサービスが伸長した結果、営業利益は3億円と伸長しました。

売上高 **13.6%増**
(単位:億円)



営業利益 **225.1%増**
(単位:億円)



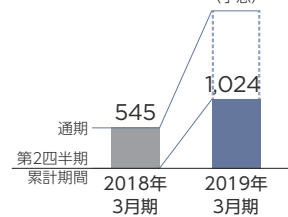
PROGRAMMED

セグメント

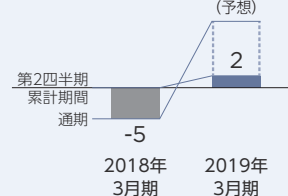
顧客リレーションの強化に取り組むものの、スタッフィング事業における競合環境の変化による既存顧客からの受注減少により、売上高は1,024億円となりました。利益面においては、オペレーションコストの削減を行った結果、営業利益は2億円となりました。

※当セグメントは、Programmed Maintenance Services Limited社を取得したことにより前第3四半期に新設したため、前年との第2四半期累計期間の比較・分析はありません。

売上高
(単位:億円)



営業利益
(単位:億円)

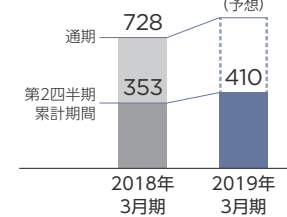


リクルーティング

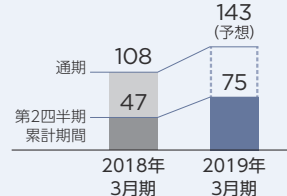
セグメント

旺盛な人材ニーズを背景に、主に人材紹介において成約数が増加したこと等により、売上高は410億円と伸長しました。利益面では、マーケティング費用の投下、また人員投資等の営業体制強化を図った一方で、人材紹介を中心とした売上高の伸長による増収効果が上回った結果、営業利益は75億円と大幅に伸長しました。

売上高 **16.1%増**
(単位:億円)



営業利益 **60.7%増**
(単位:億円)

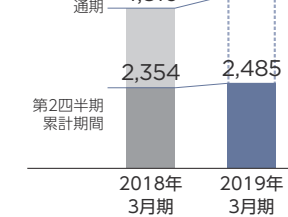


派遣・BPO

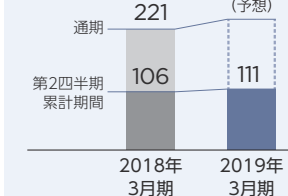
セグメント

好調な企業業績と構造的な人手不足を背景に需要は堅調に推移し、売上高は2,485億円と伸長しました。利益面においては、子会社統合に伴う費用増加があった一方で、法改正の影響に伴う顧客企業の直接雇用化により紹介手数料が増加し、また販管費等のコストコントロールを行った結果、営業利益は111億円となりました。

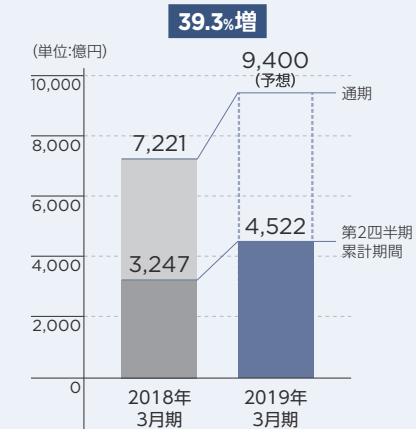
売上高 **5.5%増**
(単位:億円)



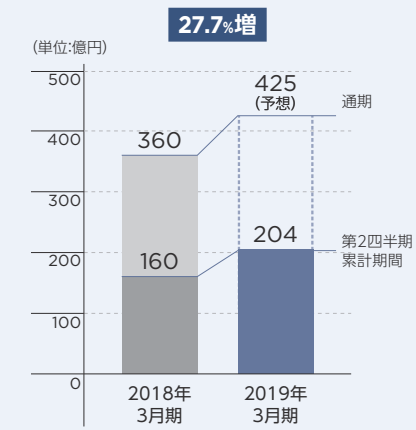
営業利益 **4.1%増**
(単位:億円)



売上高

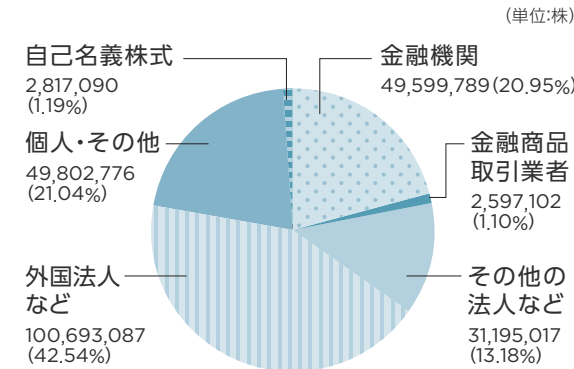


営業利益



株式所有者別分布状況

(2018年9月30日現在)



※持株比率(%)は小数点第3位を四捨五入しております。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	6月下旬	
基準日	定時株主総会	3月31日
	期末配当金	3月31日
	中間配当金	9月30日
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部	F183-0044 東京都府中市日鋼町1-1
	TEL	0120-232-711(通話料無料)
	URL	https://www.tr.mufg.jp/daikou/
上場証券取引所	東京証券取引所(市場第一部)	
公告方法	電子公告 公告掲載URL	https://www.persol-group.co.jp
	(ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載して行います。)	

株式の状況

(2018年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 …… 720,000,000株
- 発行済株式の総数 …… 236,704,861株
- 株主数 …… 9,819名
- 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
篠原 欣子	26,331,600	11.25
一般財団法人 篠原欣子記念財団	15,800,000	6.75
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	10,392,600	4.44
ケリーサービスジャパン 株式会社	9,106,800	3.89
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	8,942,500	3.82
JP MORGAN CHASE BANK 385632	5,899,717	2.52
篠原 よしみ	4,438,400	1.89
株式会社三菱UFJ銀行	3,696,000	1.58
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口5)	3,581,000	1.53
BBH FOR MATTHEWS JAPAN FUND	3,494,200	1.49

※持株比率は、発行済株式総数から自己株式を除いた株式数(233,887,771株)を基準に算出しております。
※持株比率(%)は小数点第3位を切り捨てております。

会社概要

(2018年9月30日現在)

会社名 パーソルホールディングス株式会社
 PERSOL HOLDINGS CO., LTD.
 設立 2008年(平成20年)10月1日
 本社 東京都渋谷区代々木2-1-1
 事業内容 労働者派遣事業・有料職業紹介事業などの事業を行うグループ会社の経営計画・管理並びにそれに付帯する業務
 資本金 17,479百万円

役員一覧

(2018年9月30日現在)

名誉会長	篠原 欣子
代表取締役社長 CEO	水田 正道
取締役副社長 COO	高橋 広敏
取締役専務執行役員	和田 孝雄
取締役執行役員	小澤 稔弘
取締役執行役員	関 喜代司
社外取締役	玉越 良介
社外取締役	Peter W. Quigley
取締役	嶋崎 広司
社外取締役	進藤 直滋
社外取締役	西口 尚宏
社外取締役	榎本 知佐
執行役員	林 大介
執行役員	美濃 啓貴
執行役員	峯尾 太郎
執行役員	山崎 高之
執行役員	宮村 幹夫
執行役員	高倉 敏之
執行役員	正木 慎二
執行役員	木村 和成
執行役員	瀬野尾 裕

貸借対照表

(単位:億円)

	2018年 3月期末	2019年3月期 第2四半期末	増減額
資産	4,023	3,652	△370
① 流動資産	2,305	2,028	△276
現金及び預金	896	741	△154
固定資産	1,717	1,623	△94
② 商標権・のれん	1,132	1,042	△90
負債	2,423	2,020	△403
① 流動負債	2,171	1,375	△795
1年内返済 予定の借入金	899	212	△686
① 固定負債	252	644	392
長期借入金	157	357	200
純資産	1,599	1,632	32
自己資本	1,455	1,485	30
資本金	174	174	0
資本剰余金	201	201	0
③ 利益剰余金	1,059	1,156	96
非支配株主持分	144	146	1

POINT 1
短期借入金について、一部を現金返済、残りを社債発行および長期借入金によりリファイナンス(長期化)

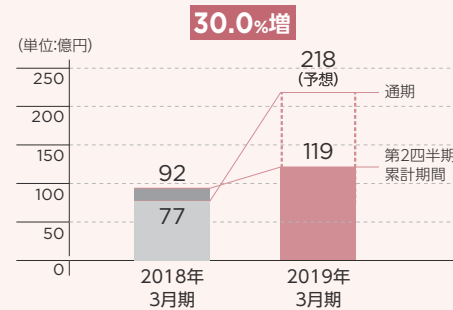
POINT 2
償却・為替換算による減少

POINT 3
利益増による増加

インターネットでも詳細なIR情報を公開しています。ぜひご覧ください。
 パーソルホールディングス ホームページ ▶ <https://www.persol-group.co.jp/>

親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

当第2四半期の親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益は、利益額の増加により、119億円(前年同期比30.0%増)となりました。



1株当たり配当金

業績は概ね予定通りに推移していることから、2019年3月期第2四半期の配当金は、当初予定しておりました1株当たり10円と致します。

	2018年3月期	2019年3月期
中間配当	9.00	10.00
期末配当	10.00	10.00(予想)